

神奈川大学

外語学部
国際文化交流学科

キャリア教養学科

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

入学する前から。高校3年生の時に高校の先生に編入を進められたとき。
高校時代、大学受験がうまくいかなかったが、もう一度四年制大学に挑戦できるから。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年生の前期に自分が将来どうなりたいたいのか、どこの大学に行きたいのか先生に相談しながら再考した。その後、英語の授業やアカデミックスキルズで編入試験のための対策をした。アカデミックスキルズでは、小論文の書き方やディスカッション、小論文を書き添削してもらうなどを行っていた。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年生の後期のアカデミックスキルズから。その授業で小論文の指導を受け、英語1～5で英語力を向上させた。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

英語力を身に付けるために、TOEICを受けていた。自分が学びたい分野の本や新書を読んだ。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

キャリアプランを立てることができたこと。様々な分野を学ぶことができ、新しいことに挑戦できたこと。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

特別研究の方向性や受験に向けてどのような対策を立て実行していけばよいのか。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①不安でいっぱい

②編入できるように頑張ろうという気持ち

③合格できるか不安な気持ち

④2年間の努力が報われた気持ち

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

聖母短大の先生方は、とても親身になって編入試験の対策をしてくれます。なので、先生に言われたことにプラスで自分の志望校への対策をしていれば合格に近づけると思います。つらい時期もたくさんありますが、いつかは終わり自分のやりたいことができる時期が待っていると考えて乗り越えていきましょう！

